

令和6年度第11回 感染症発生動向調査協議会

令和7年2月19日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2025年第1週～5週・1月）

＜全数把握対象疾患＞

- ・ 一類感染症の報告はなかった。
- ・ 結核は24例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：133.3%，2019年比：72.7%）。高齢者および若年層の2峰性分布を認めた。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症は、2例（その他）報告された（前年比：200.0%）
- ・ 四類感染症の報告は、E型肝炎1例、つつが虫病1例、デング熱2例、レジオネラ症4例（前年比：400.0%，2019年比：400.0%）であった。
- ・ 五類感染症
 - ✓ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例，後天性免疫不全症候群3例，侵襲性インフルエンザ菌感染症2例，侵襲性肺炎球菌感染症7例，百日咳5例などの報告があった。
 - ✓ 梅毒は20例報告された（前年比：250.0%，2019年比：666.7%）。

＜定点把握対象疾患＞

- ・ 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症（前月比：143.3%）――ただし2-5週は減少傾向
- ・ 前月と比較し減少傾向にある疾患
 - ✓ インフルエンザ（前月比：89.3%，2019年比：59.6%）――3週以降は急速に減少傾向
 - ✓ マイコプラズマ肺炎（前月比：76.4%，2019年比：1050.0%）――減少傾向だが，岐阜県では多い

2 検討すべき課題

＜事務局から＞

- ・ 岐阜県の急性呼吸器感染症(ARI)定点医療機関に指定について（継続）
- ・ 発生動向の評価指標として用いてきた「対2019年比」について

3 その他（感染症対策推進課から）

（国通知・事務連絡）

- ・ 令和7年度以降の制度改正を踏まえた「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正等について（予告）
- ・ 多剤耐性で重篤な感染症を引き起こす恐れのあるカンジダ・アウリスの連絡体制（情報提供及び依頼）の改正について
- ・ 「急性呼吸器感染症サーベイランス実施に向けた準備について（依頼）」の一部改正について
- ・ エコーウイルス11型（E-11）感染症の実態把握について（協力依頼）

(県通知・公表資料)

- ・感染症の届出における感染症サーベイランスシステムの利用促進について（依頼）
- ・季節性インフルエンザ警報の解除について

<検討結果>